

発行：2009年4月30日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>



今年もあったか村と共同参加

この海から地球が見える！



当日の「虹が浜」

この穏やかな瀬戸内海。じつは日本にある約半数、3,000もの島と激しい潮流を持つ、世界的にも貴重な海で、古くから自然の知恵と豊かな海洋文化が開いてきました。

私たちのすぐそばにあるこの海をもっと知り、もっと楽しむと、地球の息づかいが聞こえてきます。3回目の開催となる今回の『アースデイ@瀬戸内』のキャッチフレーズは「エネ自慢だョ！全員集合！」です。あなたも『アースデイ@瀬戸内』に来て、自然にやさしい生き方のヒントや新しい出会いを見つけて下さい！

<シャンティ山口&あったか村>

人間の排泄する汚水の処理で、下水道や合併浄化槽で使われるエネルギーや薬品がゼロかそれに近くなったらどんなに素晴らしいでしょう。また、下水道や浄化槽が必ず生み出す汚泥は、産業廃棄物として燃焼されています。ウンコは煙となって空へ消えています。加えて、本来、資源である人の糞尿は、窒素リンなどの栄養を残したまま河川・湖沼・海へ捨てられています。1970年代のオイルショックをきっかけに省エネ技術の開発がなされ、水処理の分野でも「嫌気性処理と土壌菌による分解・土への還元」として研究されてきました。それは、実にシンプルなことでした。江戸の時代にできあがった「肥溜めと畑の知恵」の応用でした。周辺農村と都市が作った循環型社会の基礎です。NPO法人シャンティ山口が、タイ国北部山岳少数民族モン族の支援のなかで、衛生環境事業に取組みトイレをつくるにあたって、日本の伝統的なこの知恵をいかしました。その実践の様子を展示します。この方法を経済的な貧困が原因でトイレがなかったり、衛生的でない状態に置かれている世界の各地へ広げたいと計画しています。と同時に、日本へ

の逆輸入もすすめ、「先進国型のエネルギー多消費、資源浪費型の水処理のあり方」も見なおしていきたいと思っています。今日は、ウンコの行方を共にかんがえましょう。（へちまや）



あったか村&シャンティ山口 「エコトイレ」と中国から訪問のみなさんに「ヤギさん」も「こども」も大喜び



JICA



太陽光・風利用



効率・移動かまど



おいしい料理ができました



風のステージ

◎アースデイ@瀬戸内 2009 は終了しました。2日間共すばらしい青空の下で開催することができ、多くの人に来場いただきました。ボランティアの皆さん、出店者の皆さん、参加された皆さん、ありがとうございました。アースデイ@瀬戸内2009実行委員長の松村文彦です。先月の18日(土)~19日(日)にかけて瀬戸内海国立公園北西部、山口県光市虹ヶ浜海水浴場並びに虹ヶ浜キャンプ村で開かれました、「アースデイ@瀬戸内2009~エネ自慢だヨ!全員集合」、みなさまのお陰を持ちまして、盛況の内に終えることができました。誠にありがとうございました。今回のテーマは“エネルギー”ということでしたが、【虹の広場】でのエネルギー招待ブースや【地球(ほし)のお話】でのNPO法人環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也さんの講演など、明日のエネルギーを考える上で、大いなる参考や勇気をもたらしたイベントになったのではないかと思います。エネルギー関連のブース以外にもアースデイらしい、ざっくばらん、多種多様なブースやステージ、そして多種多様なヒトやヤギなど、会場に居合わせた方を魅了し続けた雰囲気の良い2日間でした。瀬戸内海発の地球環境イベントをしようと、有志で立ち上げたアースデイ@瀬戸内も今年で無事に3回目を終えました。1年目の来場者は1300人、2年目は1500人、3年目の今年は2000人と、アースデイ@瀬戸内の認知度も徐々に高まっていると実感しています。改めましてみなさんのご協力、誠にありがとうございました。

—環境衛生活動募金にご協力をお願いします。—

2009.4.30saeki